

コロナ禍 失業者は…

生活費足りず借金

給付金をもう一度

止まらない新型コロナウイルス感染症の流行。政府は緊急事態宣言を、さらに30日まで延長することを決めました。こうしたなかで労働者の仕事が減り、失業する人も少なくありません。東京都内のハローワーク（公共職業安定所）を訪ねました。

（小林圭子、武田祐一）

求人との面談や相談コーナーは人がまばらでした。ハローワークの職員によると「新型コロナ流行以前は満員だったのですが、今は感染対策で『三密』をさけるため、インターネットで求人を閲覧し、電話で相談する人が増えている」といいます。

「この現場を見ると来所者が減っており、わかりにくいのですが、コロナ後、失業者は少なからず増えているというのが実感です」

別の職員は「企業の側はコロナの影響で先行きが分からないので、求人を出すのに積極的ではない。いまの雇用を

維持するだけで手いっぱいになっている」と指摘します。

全て採用ダメ

ハローワークの利用者に今の状況や要望を聞いてみると…。

年金生活の男性(64)は「年金だけでは生活が苦しいので、清掃の仕事をしていたい」といいます。

ところがコロナを理由に会社から一方的に休業するよういわれ、収入が絶たれました。「パワハラもある会社だったので辞めて、ほかの清掃会社を探しに来ました。何とかめどが立った」と話しま

都内のハローワークで聞いた



相談の順番を待つ人たち＝10日、都内のハローワーク

す。

いまの政治に対しては「無駄遣いをなくしてほしい。菅（総理）首相は周りの声をもっと聞くべきだと思う。できればもう一度給付金がほしい」と語りました。

フリーのデザイナーの男性(67)は「コロナの影響で1年前ごろから展示会が開けなかり収入が減った」と話します。

「知り合いの紹介で1件4万円ほどの小さな仕事を請け

負っていますが、家賃など生活費が月15万円くらいかかるため、足りない分を借金している」といいます。

ハローワークに来るのは3回目、4社に履歴書を送ったといいます。「全てダメでした。今回は宝石のデザインの仕事を紹介してもらい、これから検討してみる」と話しました。

婦人服の加工工場に勤務し

ていた男性(77)は「コロナで仕事が減り、半年前に人糞整理された際、高齢の自分が手を挙げて退職した」といいます。アパレル関係の仕事を探して、4カ月前からハローワークに通っています。「響きが悪く求人自体が少ない。2社の面接を受けましたが不採用でした。厚生年金を受給しているものの、物価が高く年金だけだと厳しい」と話します。

▽日雇い労働の男性(60)は工事が止まり、失業▽介護ヘルパーの女性(50代)は「コロナの影響で仕事が激減…。赤羽区たみお地区議は「コロナの影響がわりと広がっています。失業者は苦悩しています。国民に自衛を求めるならしっかりと補償をするべきです。生活困窮者には、手厚い支援が必要です」と訴えます。

菅政権に対しては「さるさるのがなくなって、話にならない。国民のことを考えていないしカネの政治になっていて、ひたすら怒ります。野党を応援していると述べ、野党共闘をしっかりとやってほしい。今度の総選挙でいい結果を出してほしい」と期待を寄せました。

35万人も増え

総務省が8月31日に公表した7月の完全失業者数は全国で191万人でした。前月比で15万人減ったものの、新型コロナウイルス感染症が流行する前の2019年7月の156万人と比べると35万人も増えています。

日本共産党の東京・江東区議団には「コロナ禍で職を失った人などから深刻な相談が寄せられています。」

▽日雇い労働の男性(60)は工事が止まり、失業▽介護ヘルパーの女性(50代)は「コロナの影響で仕事が激減…。赤羽区たみお地区議は「コロナの影響がわりと広がっています。失業者は苦悩しています。国民に自衛を求めるならしっかりと補償をするべきです。生活困窮者には、手厚い支援が必要です」と訴えます。